



## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社フジタコーポレーション  
コード番号 3370 URL <https://www.fujitacorp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 清水 清作

TEL 0144-34-1111

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,129	2.9	3		1		5	
2024年3月期第1四半期	1,097		14		17		9	

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 4百万円 ( %) 2024年3月期第1四半期 10百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	1.68	
2024年3月期第1四半期	2.68	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,764	135	4.9
2024年3月期	2,848	139	4.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 135百万円 2024年3月期 139百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,366	8.1	23	8.8	27	13.4	9	18.6	2.22
通期	4,957	8.0	131	40.2	140	10.2	105	101.2	30.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	3,413,300 株	2024年3月期	3,413,300 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2025年3月期1Q	79 株	2024年3月期	79 株
------------	------	----------	------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	3,413,221 株	2024年3月期1Q	3,413,221 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、円安の進行やそれに伴う物価上昇が継続していることや、世界情勢の不安定による影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する飲食・小売、製造・卸売及び農畜産業におきましては、原材料及び光熱費の度重なる値上りや人件費高騰の影響が非常に大きく、大変厳しい経営環境で推移しております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、中期経営計画に基づいて不採算店舗及び事業からの撤退が概ね完了し、高収益が見込める業態については、慎重に検討したうえ新規出店、譲受出店、大規模改装を進めることとしており、当第1四半期連結会計期間において、飲食店舗2店舗を出店いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの飲食・小売部門の稼働店舗数は49店舗、製造・卸売部門1拠点、農畜産部門1拠点であります。当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,129,837千円（前年同四半期比2.9%増）となりましたが、店舗出店に伴う開業費、外国人労働者の採用に係る渡航費・研修費用等の経費の発生により、営業損失3,636千円（前年同四半期は営業利益14,947千円）、経常損失1,109千円（前年同四半期は経常利益17,958千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失5,227千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益9,634千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### a. 飲食・小売部門

当第1四半期連結累計期間における飲食・小売部門におきましては、フランチャイズ事業はフランチャイズ本部主導の新商品の投入や販売促進活動を、オリジナルブランド事業は季節限定商品の開発及び販売を継続し、スマートフォンのアプリやLINE等及び店頭にて特定商品を訴求することで客単価増やリピート顧客の獲得に努めてまいりました。

飲食・小売部門の当第1四半期連結累計期間の売上高は998,408千円（前年同四半期比3.9%増）、セグメント利益11,155千円（同61.1%減）となりました。

#### b. 製造・卸売部門

当第1四半期連結累計期間における製造・卸売部門におきましては、衛生管理に最大限の注意を払いつつ、効率的かつ最大製造数を目標に掲げるとともに、新たな商品の開発及び販売並びに新規取引先開拓による販路拡大の双方で収益の最大化に努めてまいりました。

製造・卸売部門の当第1四半期連結累計期間の売上高は81,436千円（前年同四半期比14.9%減）、セグメント利益78千円（同97.3%減）となりました。

#### c. 農畜産部門

当第1四半期連結累計期間における農畜産部門におきましては、搾乳量の増加目標を掲げ、乳牛の購入や栄養管理、牛舎環境の改善、牧草の自社栽培等によるコスト削減に努めてまいりました。

農畜産部門の当第1四半期連結累計期間の売上高は49,993千円（前年同四半期比19.8%増）、セグメント損失11,142千円（前年同四半期はセグメント損失12,512千円）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は698,001千円となり、前連結会計年度末に比べ156,562千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が162,235千円、売掛金が8,774千円減少したこと等によるものであります。固定資産は2,066,767千円となり、前連結会計年度末に比べ72,428千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が77,841千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は2,764,768千円となり、前連結会計年度末に比べ84,134千円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は632,162千円となり、前連結会計年度末に比べ104,668千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が49,559千円、未払金が16,300千円及び未払法人税等が15,908千円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,997,195千円となり、前連結会計年度末に比べ24,551千円増加いたしました。これは主に長期借入金が18,746千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,629,357千円となり、前連結会計年度末に比べ80,116千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は135,410千円となり、前連結会計年度末に比べ4,018千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失5,227千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は4.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、原材料及び光熱費等の値上りが継続する場合は、当社グループの業績に多大な影響を及ぼすことが予想されます。それらの安定の見通しなどの未確定な要素があるものの、各種コストの削減、締結済の契約内容の見直しなどを継続してまいります。また、飲食・小売部門については、当第1四半期連結累計期間に出店した店舗の収益増、農畜産部門については、乳牛増加に伴う生乳出荷量増等により、通期の業績予想を達成できるように努めてまいります。

連結業績予想については、2024年5月15日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2014年4月に策定した経営改善計画に基づき、不採算店舗及び事業からの撤退や業態変更等を進め、店舗及び事業の整理に一定の目途がついたことから、慎重な判断のもと、新規出店、大規模改装等に少しずつシフトし、店舗数及び事業規模の回復を図ってまいりました。

2021年7月より始まりました新たな経営改善計画において、既存事業の収益確保・向上、フランチャイズ本部事業の拡大、「食」に関連する新規事業推進の3つを掲げております。

既存事業の収益確保・向上については、当社グループの主要事業である飲食店舗のうち、高収益が見込まれる業態店舗の新規出店、老朽化が著しい店舗の改装・大規模修繕について慎重な計画のもと投資し、ブランドイメージと収益の双方を向上させるための活動を継続してまいります。

フランチャイズ本部事業の拡大については、当社グループのオリジナルブランドであります「かつてん」のフランチャイザー事業、「らーめんおっべしちゃん」の北海道・東北地区のエリアフランチャイザー事業の加盟開発及び出店を推進してまいります。

「食」に関連する事業推進として、2021年7月に北海道寿都郡黒松内町の「黒松内町特産物手づくり加工センター」（トワ・ヴェール）の指定管理者に指定され、同年10月より当該施設においてチーズ、ハム、ベーコン、アイスクリーム等の製造、加工及び販売の開始に続き、2022年8月より同町内で農地を賃借し農業に参入いたしました。また、2023年2月には株式会社TOMONI ゆめ牧舎を株式の取得により連結子会社化し、酪農業にも参入いたしました。今後も慎重な判断のもと、新規事業への参入を行ってまいります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、営業損失3,636千円、親会社株主に帰属する四半期純損失5,227千円を計上しております。また、当社グループの有利子負債は2,161,630千円と負債純資産の78.2%を占め、手元流動性に比して高水準にあるため、取引金融機関から返済条件の緩和を継続して受けている状況にあります。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該重要事象等を解消すべく、事業面及び資金面において対応策を講じております。

事業面におきましては、店舗において期間限定商品やサービスの訴求、スマートフォンのアプリやLINE等を使用した効率的な販売促進活動による収益確保と販売管理費等のコスト削減を両立し、収益力の強化に努めてまいります。当社グループのオリジナルブランドであり、フランチャイザーとして加盟展開しております「かつてん」の加盟開発及び加盟店出店を進め、フランチャイザー事業を当社グループの収益の柱となる事業へと成長させてまいります。また、飲食・小売事業、製造・卸売事業に共通する原材料・消耗品をはじめとする全社的なコスト削減活動を継続してまいります。「食」に関連する事業展開につきましても、サステナビリティを意識しつつ、収益拡大に向けた取引先の新規開拓、ネット通販等の対面以外の販路の充実及び海外での事業活動開始に向けた調査・トライアル販売にも着手しており、より多くのチャネルでの販売活動を行ってまいります。

資金面におきましては、当社グループの主力取引銀行の支援のもと、取引金融機関に対し、長期借入金元本返済条件緩和の継続を要請し、同意を得たうえで返済をしております。また、主力取引銀行と適時状況と情報を共有しており、今後の状況変化に応じた柔軟な支援体制を得られる見込みであります。

当該金融支援及び事業遂行により、財務体質の改善を図ってまいります。

これらの具体的な対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	514,858	352,623
売掛金	190,532	181,757
商品及び製品	25,112	30,232
仕掛品	11,143	14,735
原材料及び貯蔵品	57,996	65,694
その他	54,920	52,957
流動資産合計	854,564	698,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	731,441	793,808
機械装置及び運搬具(純額)	11,289	10,232
土地	426,518	426,518
建設仮勘定	5,170	682
その他(純額)	115,621	136,641
有形固定資産合計	1,290,041	1,367,882
無形固定資産		
のれん	60,771	56,973
借地権	140,000	140,000
その他	9,219	8,872
無形固定資産合計	209,991	205,845
投資その他の資産		
投資有価証券	59,707	61,776
敷金及び保証金	413,410	409,112
その他	51,212	52,173
貸倒引当金	△30,024	△30,024
投資その他の資産合計	494,305	493,038
固定資産合計	1,994,338	2,066,767
資産合計	2,848,903	2,764,768

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	92,812	85,764
短期借入金	249,209	243,970
1年内返済予定の長期借入金	81,674	32,115
リース債務	2,853	2,853
未払金	179,304	163,003
未払法人税等	26,453	10,545
店舗閉鎖損失引当金	3,505	2,117
資産除去債務	800	745
その他	100,216	91,047
流動負債合計	736,830	632,162
固定負債		
長期借入金	1,846,257	1,865,003
リース債務	13,941	13,941
繰延税金負債	1,134	1,663
資産除去債務	16,914	25,969
その他	94,396	90,617
固定負債合計	1,972,643	1,997,195
負債合計	2,709,474	2,629,357
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	889,985	889,985
資本剰余金	549,534	549,534
利益剰余金	△1,302,697	△1,307,924
自己株式	△53	△53
株主資本合計	136,768	131,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,589	3,798
その他の包括利益累計額合計	2,589	3,798
非支配株主持分	70	70
純資産合計	139,428	135,410
負債純資産合計	2,848,903	2,764,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,097,910	1,129,837
売上原価	466,860	463,725
売上総利益	631,049	666,112
販売費及び一般管理費	616,101	669,749
営業利益又は営業損失(△)	14,947	△3,636
営業外収益		
受取利息	50	42
受取配当金	412	381
不動産賃貸料	36,404	36,038
その他	8,114	6,437
営業外収益合計	44,982	42,899
営業外費用		
支払利息	12,558	11,343
不動産賃貸原価	28,977	28,832
その他	435	196
営業外費用合計	41,971	40,372
経常利益又は経常損失(△)	17,958	△1,109
特別利益		
資産除去債務戻入益	80	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	156
特別利益合計	80	156
特別損失		
固定資産除却損	2,656	26
店舗閉鎖損失	2,078	—
特別損失合計	4,735	26
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	13,303	△979
法人税、住民税及び事業税	3,669	4,247
法人税等合計	3,669	4,247
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,634	△5,227
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9,634	△5,227



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,634	△5,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	856	1,208
その他の包括利益合計	856	1,208
四半期包括利益	10,490	△4,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,490	△4,018
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	960,512	95,655	41,742	1,097,910	—	1,097,910
外部顧客への売上高	960,512	95,655	41,742	1,097,910	—	1,097,910
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	492	492	△492	—
計	960,512	95,655	42,234	1,098,402	△492	1,097,910
セグメント利益又は損失 (△)	28,701	2,960	△12,512	19,149	△4,201	14,947

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主としてのれんの償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	998,408	81,436	49,993	1,129,837	—	1,129,837
外部顧客への売上高	998,408	81,436	49,993	1,129,837	—	1,129,837
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	97	97	△97	—
計	998,408	81,436	50,091	1,129,935	△97	1,129,837
セグメント利益又は損失 (△)	11,155	78	△11,142	91	△3,728	△3,636

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主としてのれんの償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	29,505千円	31,684千円
のれんの償却額	4,070	3,798